

令和4年2月1日

愛川町野球協会 加盟チーム 殿

愛川町野球協会会長 古座野 君夫

愛川町野球協会審判部の窮状に対するお願い

拝啓、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃、当協会に対しご指導、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、予てより厳しい状況で活動してきた審判部ですが、今年度および来年度以降を踏まえると、何かしらの対応を取らなければ協会の活動が立ち行かなくなる恐れが出てきております。

つきましては、審判部の現状をご報告すると共に、幾つかお願いとご協力をお願い申し上げます。

■審判部の現状

今年度の審判部部員は、年齢79歳、77歳、73歳(2名)、71歳、66歳、61歳、56歳、55歳の全9名を予定しています。

このように非常に高齢化している中、年間行事として愛川町野球協会主催の春季/秋季大会審判、数回の軟式神奈川県大会、高校および中学野球大会への審判派遣を行っています。

これまで常に審判員募集は行ってきましたが、なかなか集まらないまま各審判部員の踏ん張りで現在に至っています。

■各チームへのお願い

- ・審判をやってみたい方、あるいはそのような人材をご存じの方がおられましたら、ぜひ審判部にお声掛けください。(チーム登録日2/13～ 山口審判長 090-3572-1454)
- ・現在の窮状を解決する何か考え・アイデアがありましたら、ご提案・ご相談ください。
- ・協会では春季・秋季大会の運営をスムーズに進めるため、従来より義務化している試合前・後のサポート(塁審、ボールボーイ、スコアボードなど)の負担増(例えば2名→3名)も視野に入れざる得ないと考えています。仮に実施となった際は大変申し訳ありませんがご協力をお願いいたします。

協会側の危機意識不足についてはこの場を借りてお詫び申し上げますが、ぜひ大好きな野球を愛川町で継続していくため、皆様のご協力をお願い申し上げます。